

中学校部会 分科会① 第3学年 【亀崎会場】

研究主題 論理的な思考力の育成

～「検討」「精査」の過程における思考の見える化をとおして～

広島市立船越中学校

1 はじめに

広島市中学校教育研究協議会中学校国語部会では、「論理的な思考力の育成」を踏まえ研究推進を行った。伝えたいことを表現する力は現代社会において必要不可欠である。そのためには、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるための、「根拠や理由」を導き出すことが大切であるが、そこに苦手意識を感じている生徒は少なくない。本提案は、第3学年「読む」領域の古文単元「おくのほそ道」を中心に組み込んだ実践をまとめたものである。

2 研究の概要

(1) 研究仮説

作品から得たイメージを視覚化し、考えの根拠を説明する活動を行えば、批判的に読みながら文章に表れたものの見方・考え方について考えることができるだろう。

(2) 研究の内容

- ① Google Workspace のアプリ，スライドを活用したワークシートを作成する。
- ② 俳句に表れた作者の心情を色で表し，本文に根拠を求め説明する言語活動を行う。
- ③ 生徒のワークシートを分析し，思考の変容を見取る。

3 実践例

第3学年「夏草～『おくのほそ道』から～」光村図書三年

(1) 指導目標

【領域】

- ・ 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して，その世界に親しむことができる。〔知識及び技能〕（(3)ア）
- ・ 文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。〔思考力，判断力，表現力等〕（C（1）イ）
- ・ 言葉がもつ価値を認識するとともに，読書を通して自己を向上させ，我が国の言語文化に関わり，思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力，人間性等〕

(2) 単元について

芭蕉の「旅」に対する考え方や人生観に触れながら俳句を読み解かせる。芭蕉の心情を文章の描写を根拠に考え，交流することを通して，文章に表れたものの見方・考え方を見出すことに繋げたい。

(3) 指導方法の工夫について

Google Workspace のアプリ，スライドを活用したワークシートを作成し，活用した。意見を視覚化し，文章を根拠に考えの交流を行うことで，文章に表れているものの見方や考え方について批判的に読む力の育成を図った。

4 成果と課題

- 成果 色を視点に視覚的にイメージを表現したことで，本文を根拠に思考を深める姿が見られた。イメージを視覚化することで話し合いが活性化し，思考の深まりに繋がった。
- 課題 簡単に編集できるので，思考や変容の跡が残りにくい。
視覚化したイメージを説明する際の視点を明確化する必要があった。

批判的に読みながら文章に表れたものの見方・考え方について 考える能力を育てる指導法の工夫

～ICTを活用したワークシートの開発と活用を通して～

検証授業の計画・実践

◎ 俳句に表れた作者の心情は何色か？

草の戸も → 夏草や → 五月雨の

教師が示した視点に沿って考える → 場面の中の描写を関連付けて考える → 他の場面を関連付けて考える

三つの場面を通して、作者のものの見方を捉える。

※思考の変容を見取る

「おくのほそ道」において、俳句に表れた作者の心情を色で表すという授業をそれぞれの句で行った。その活動の中で、生徒が徐々に着目する視点を広げられるように展開した。

指導の工夫



ICTを活用したワークシートの開発

色を変える

夏草や兵どもが夢の跡

何色？ 芭蕉は何を見て、何を感じたのだろうか？

理由



「草の戸も」「夏草や」「五月雨の」の三つの句に表れた芭蕉の心情をパレットから自由に作成した色で視覚的に表現することができる。